

令和 7 年度

支援だより

いなみ野

兵庫県立いなみ野特別支援学校

支援部 発行

Tel 079-492-6161 Fax 079-492-6162

R7.7.29 No.4

暑い日が続きますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。旧校舎の取り壊しは一部を残してすっかり終わり、きれいに整地されました。1月からスタートした仮設校舎での学校生活は半年が経過し、少しずつ慣れていきながら今の環境でできる範囲での学習活動に取り組んでいます。先日は中学部が稲美中学校を訪問し、七夕交流を行いました。今号はその様子と、現場で役立つ書籍、支援方法について紹介します。

学校行事予定

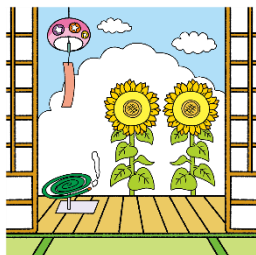


8月

8/7 (木) 小学部就学前相談会 (～8日)

8/12 (火) 学校閉庁日 (～15日)

8/20 (水) 高3 福祉進路相談会 (～27日)



9月

9/1 (月) 始業式 短縮 11:40 下校

9/2 (火) 短縮 11:40 下校

9/3 (水) 給食開始 平常授業開始

9/5 (金) 高3 進路説明会・参観

9/25 (木) 中2 宿泊学習 (～26日)

高等部現場実習事前面接

9/30 (火) 小1 遠足

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校ブログにてお知らせします。

いなみ野特別支援学校ブログ

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QRコードはこちら ⇒



いなみ野の学習活動 インタビュー

7月4日(金)、稲美町立稲美中学校の体育館で七夕交流会が行われました。参加したのは、稲美中学校1年生と特別支援学級、本校中学部の生徒です。交流を通して、人間関係や経験を広げ、お互いを正しく理解し、学校生活をより豊かにし、共に助け合い支え合うことの大切さを学ぶことを目的としていました。

事前学習では、本校中学部の生徒が稲美中の生徒に好きなものを伝え、後日、一人一人に宛てた招待状を届けてくれました。招待状には、それぞれが好きなキャラクターなどの絵やシールがあしらわれており、本校の生徒は大変喜んでいました。



当日には、大きな看板を持った稲美中の生徒たちが本校のスクールバスを出迎え、笑顔で大きく手を振って歓迎してくれました。交流内容は、各班 10 人程度に分かれての自己紹介、朗読劇、歌「たなばたさま」合唱、七夕飾り、ダンス「ジャンボリーミッキー」。歌は手話を交えて、ステー



ジで歌いました。七夕飾りでは、稲美中の生徒がいなみ野の生徒に短冊や飾りを貼る位置など、優しくサポートしてくれました。ダンスは稲美中の生徒も本校の生徒も一緒にステージに上がって盛り上がりました。大人数が苦手な生徒もいましたが、楽しんで参加できていました。

今回の交流を担当した先生は「自然体で良い交流ができて良かった」と話していました。

ちよつと

ひとやすみ



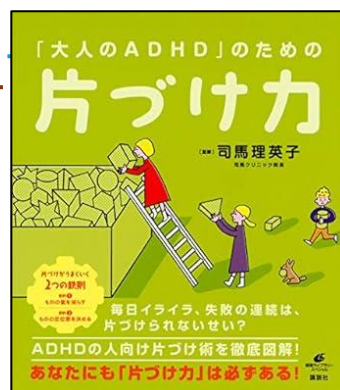
『「大人の ADHD」のための片づけ力』監修：司馬理英子 講談社

片づけが苦手な人の中には、ADHD という発達障害がある場合があります。

本書は、ADHD のある人がなぜ片づけて困るのか、その理由も解説されており、障害理解のためにも役立ちます。片付けで大事なことが分かりやすくまとめられており、読みやすい一冊です。本のタイトルに“大人の”とありますが、片付けが苦手な ADHD のある児童生徒への指導支援を考える際にも参考になります。

片づけで大切なことは、“ショールームのように美しく整えることではなく、生活するうえで必要なものを使いやすく、また後片づけもしやすくすること”としています。

※本の掲載について、出版社の承諾を得ています。



支援のタネ



先日、専門家相談で OT（作業療法士）の先生にお越しいただきました。

計 6 名の児童生徒を見ていただく中で、次のことを教えていただきました。

“枠組みを決めること”

例えば、食事で右手にスプーン、左手にお碗をもつ（左手をお碗に添える）というように両手を使って食べることを指導したい時。食事の初めから終わりまでそれを求めると子どもは疲れてしまうし、食事の時間が嫌になってしまうことがあります。



枠組みを決めるとは、終わりが分かるようにすることです。少量のおかずをお碗に入れ、「これだけ両手で頑張ろうね」と伝えます。頑張れたら、褒める。あとは自由に食べて良いことにします。そうして頑張る量を少しずつ増やしていきます。これは食事だけでなく、着替えなど他の生活課題にも当てはめて考えることができます。